

媽 陣 愛

娘の同級生に熟れた肉体を弄ばれた人妻。





そして、ついに我が家に
何喰わぬ顔でやってきた。



しかも娘とあんなに
親しそうに……。



一体どういいうつもりなの
……………?

娘と同じ学校なのは
知っていたけど……ただ、同じ
クラスとは思わなかった。



あらあら…
ごめんなさいね。
おばさん、気付かなか
くって…。



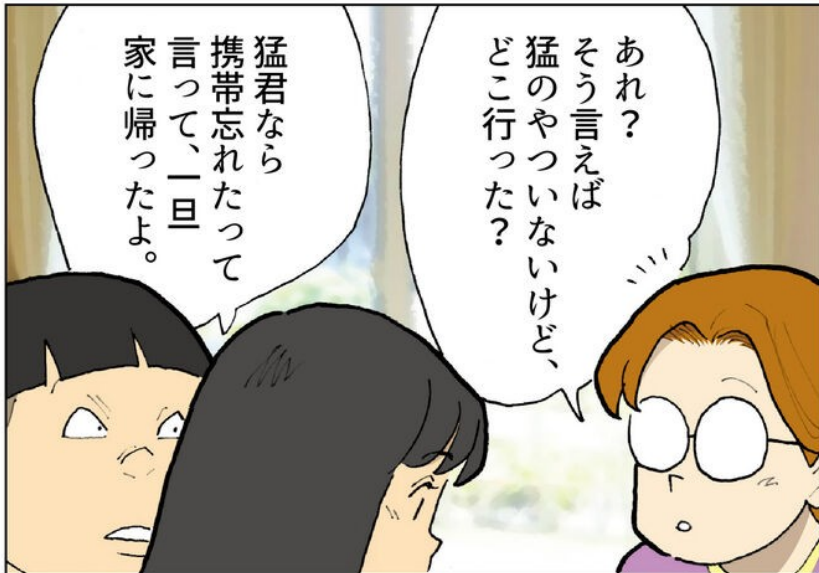
下に置いといて
くれたら、後で
片付けといたのに
……。



なに？
私の顔に何か
付いてるのかな？

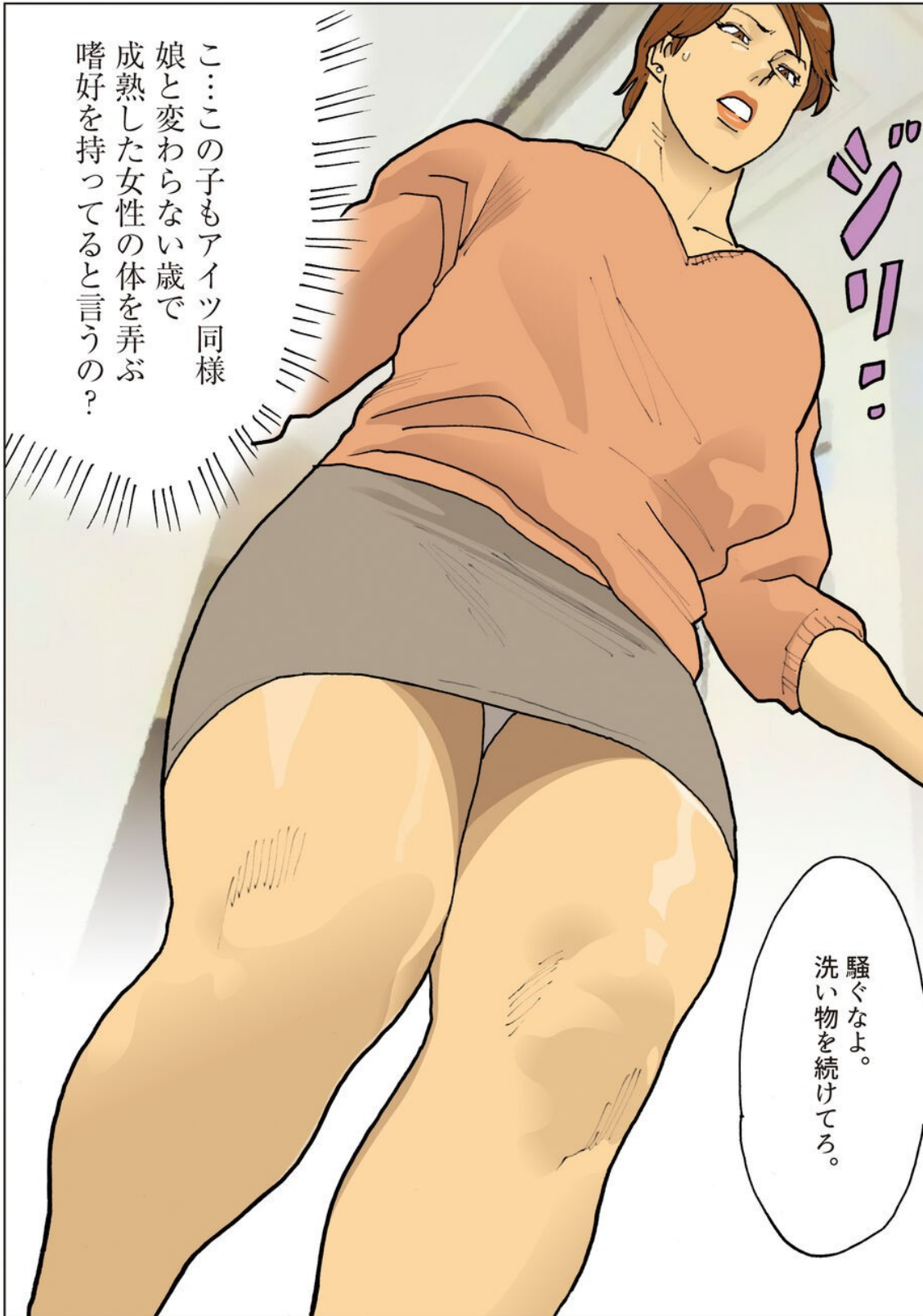
？







あの子……。

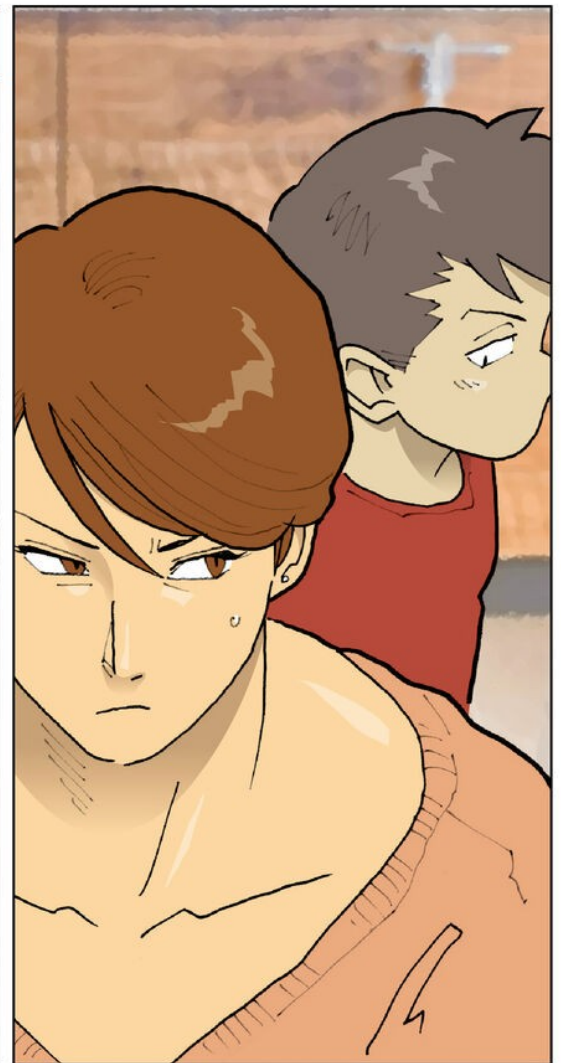


こ…この子もアイツ同様
娘と変わらない歳で
成熟した女性の体を弄ぶ
嗜好を持つてると言うの？

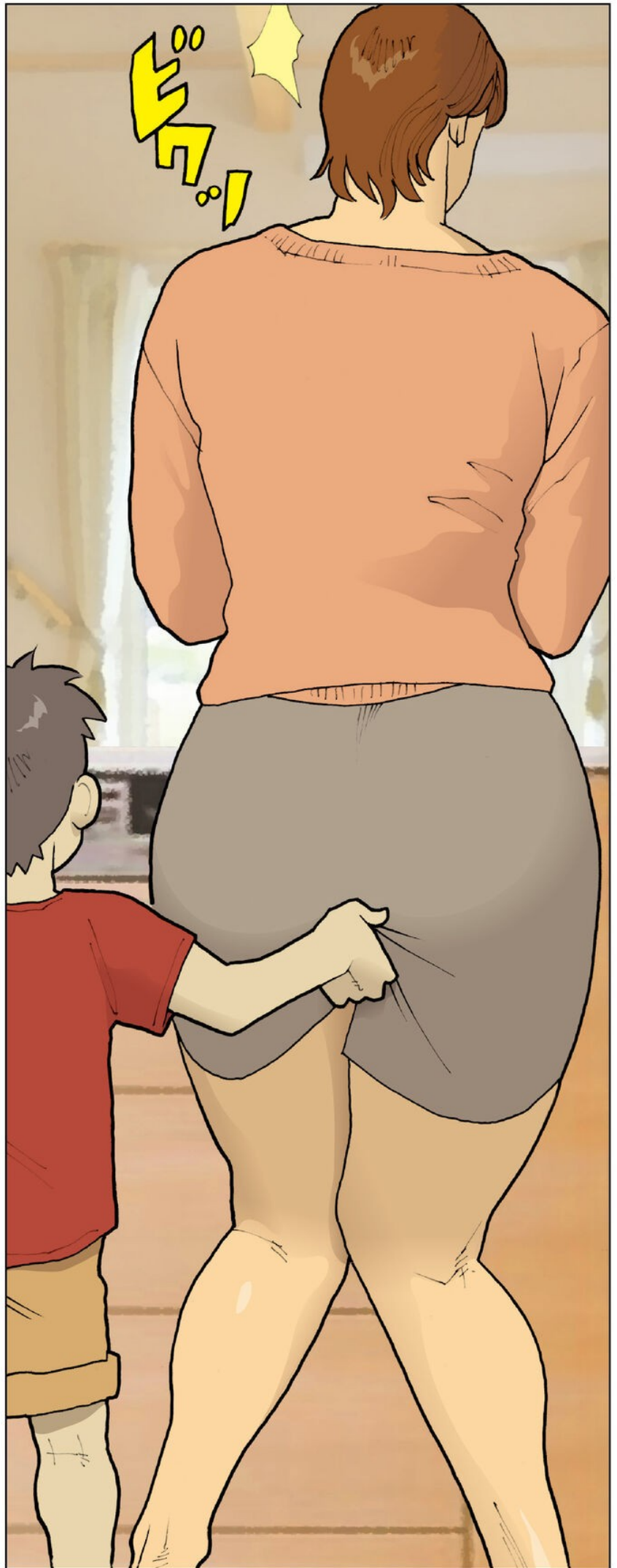
騒ぐなよ。
洗い物を続けてろ。

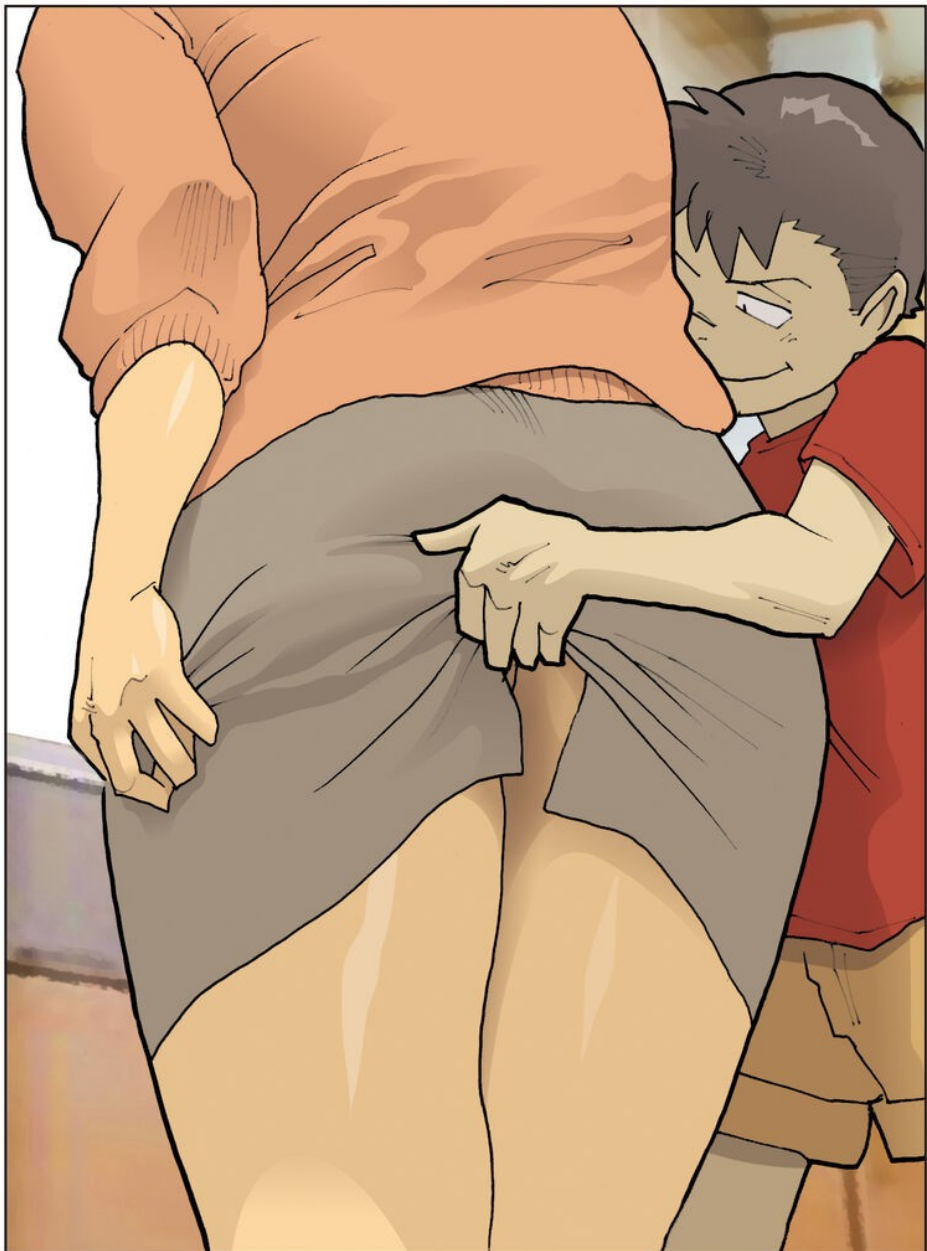


シート



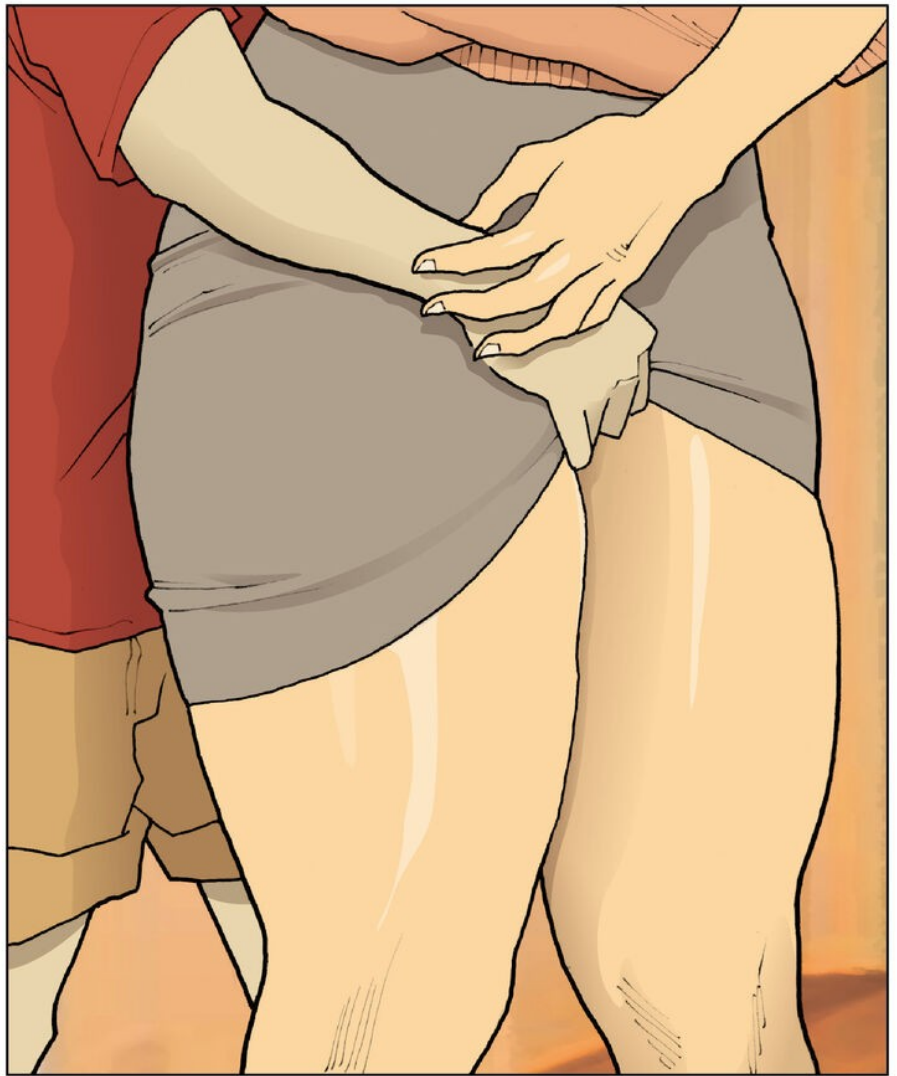








コラツ……
あんまりガサガサ
音立てないで……。



そこまで気にする程
うるさくねえよ……
おばさん。

それより、アンタの
上と下の口から漏れてくる
音の方が、俺としちゃあ
心配だけどね。

生憎だけど…
君くらいの歳で
私をどうこう出来る
と思わないで……。

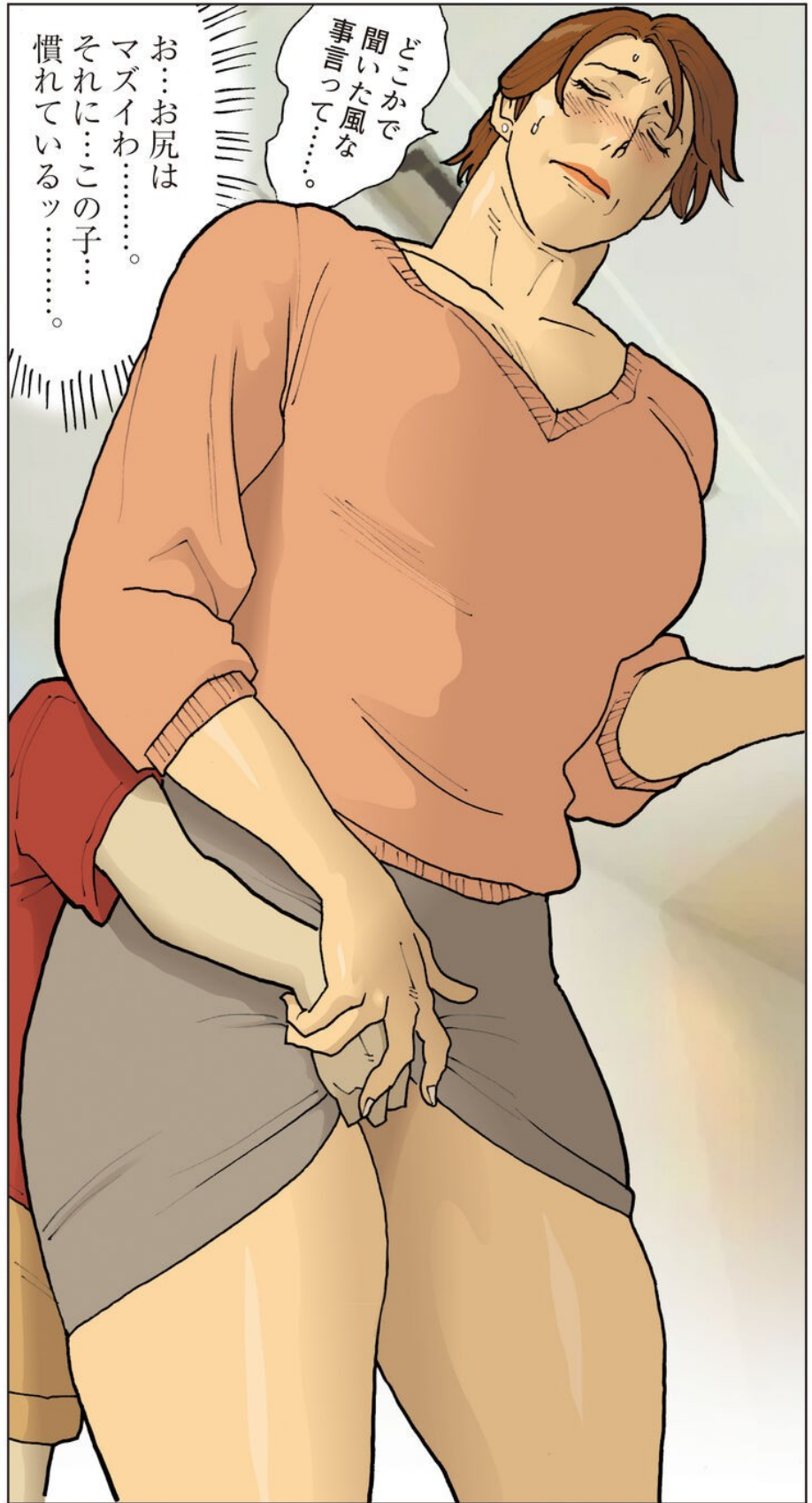
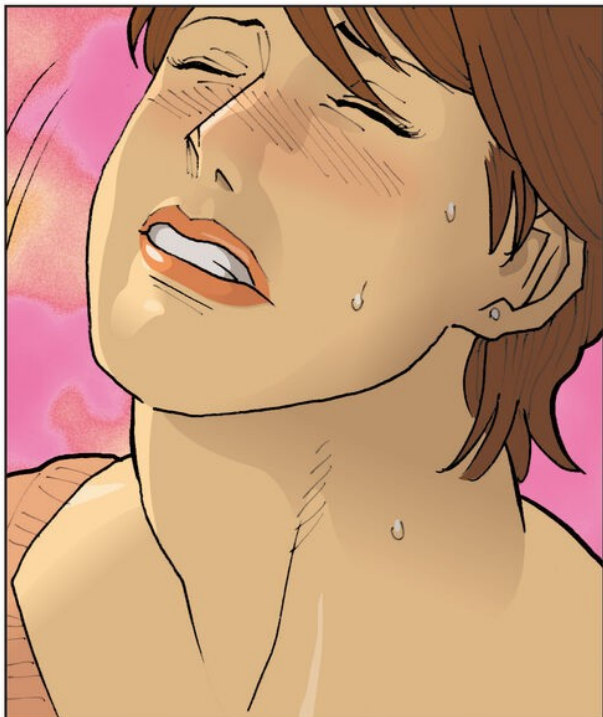
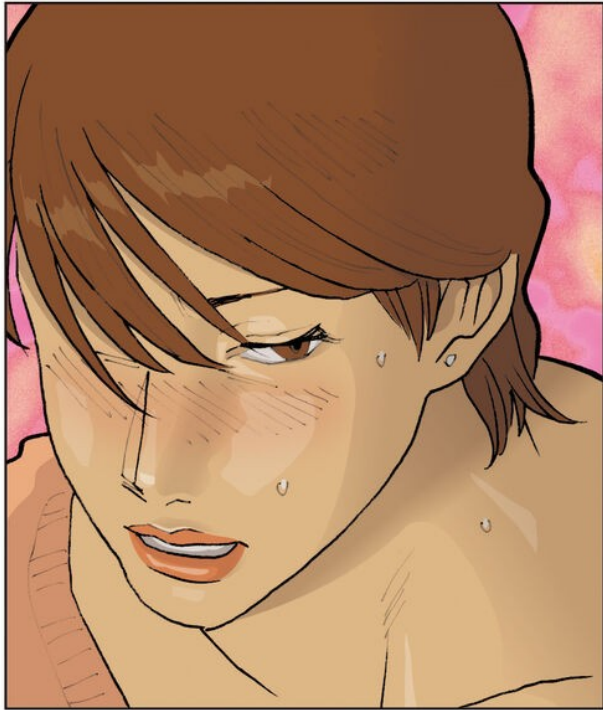
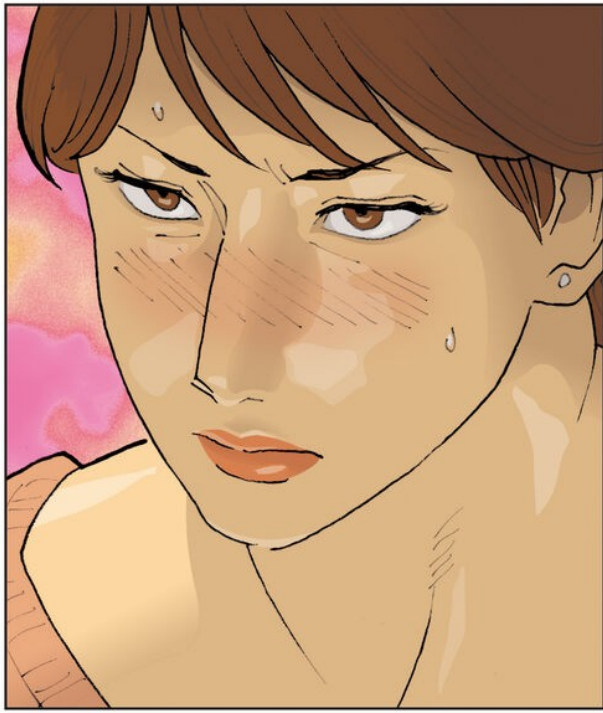
ふらん…
その割には
少しずつ声が
上擦ってきて
ねー？

あ…そんな
いきなり前後
の穴一度に入れ
ないでッ……



さして…娘と同じ空間で
どこまで平静を装えるかな？



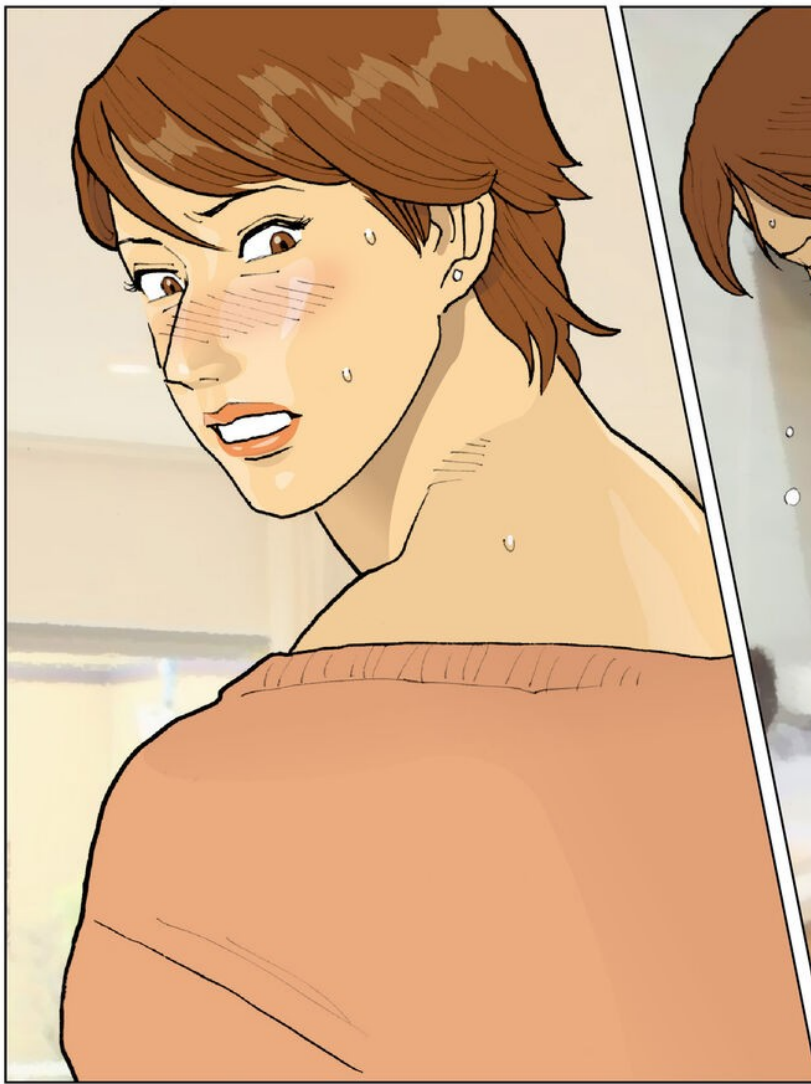


どこかで
聞いた風な
事言ってる……。

お……お尻は
マズイわ……。
それに……この子……
慣れているッ……。

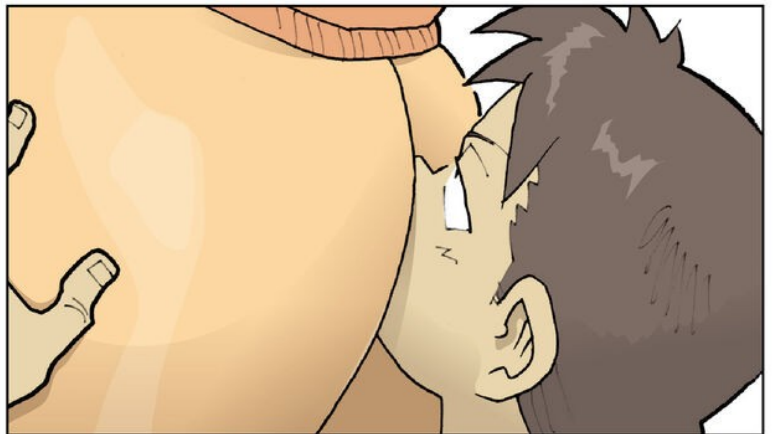


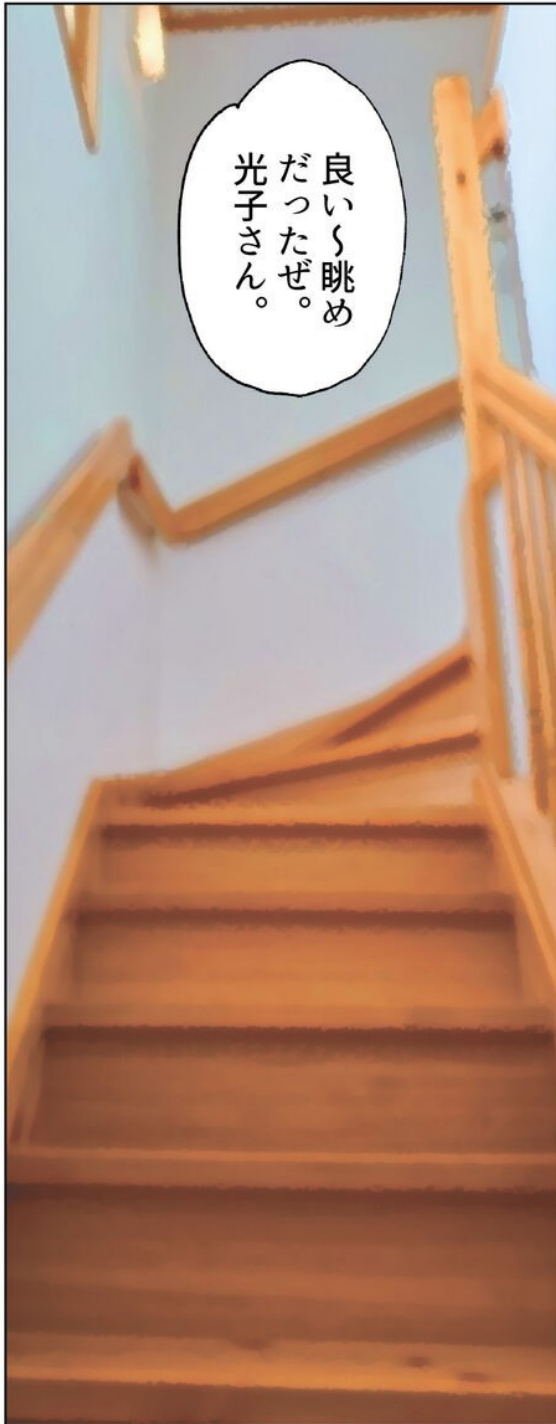
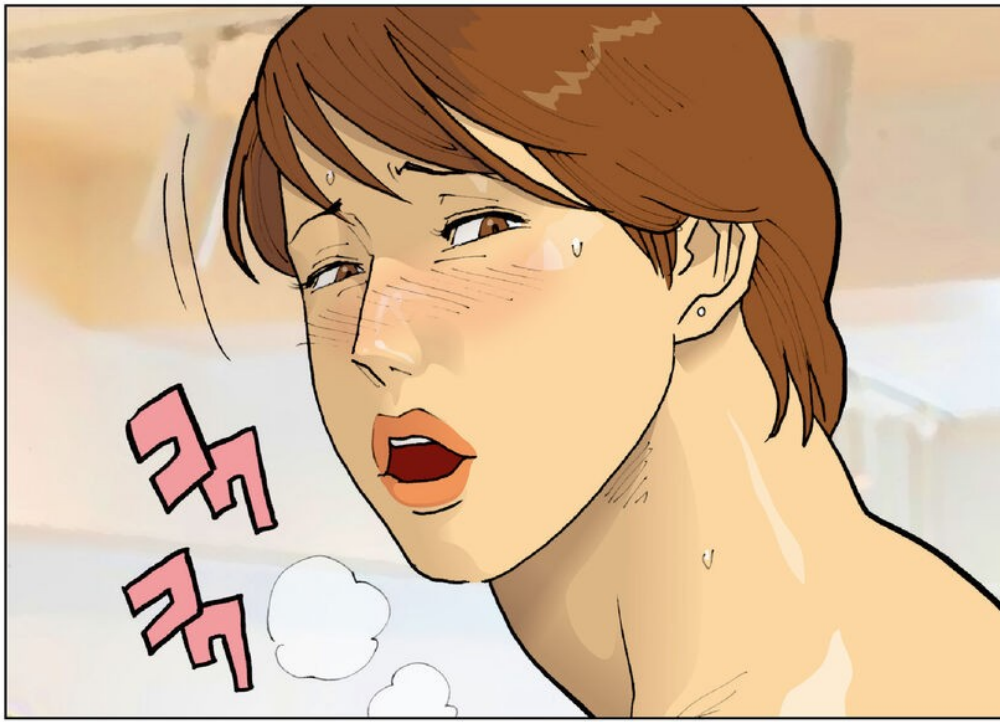
さっきから俺の
手を掴んだりして……
おばさん、もう
余裕ないんじゃない
ね？

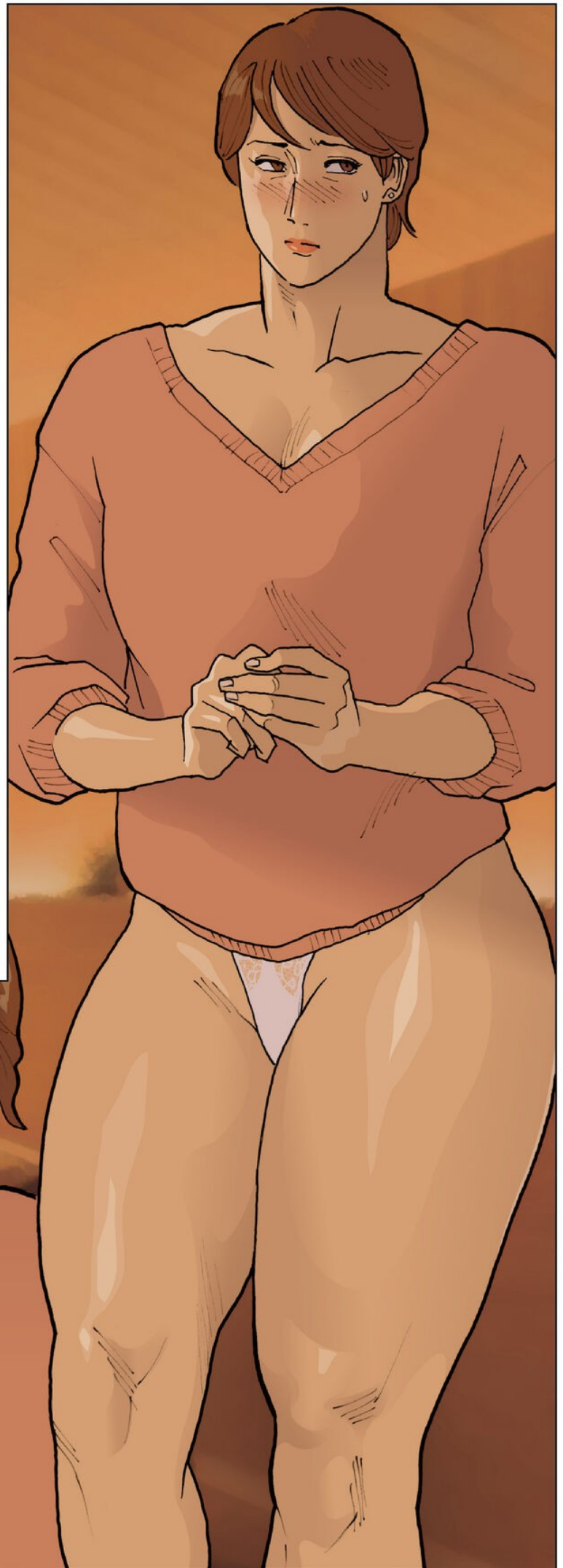
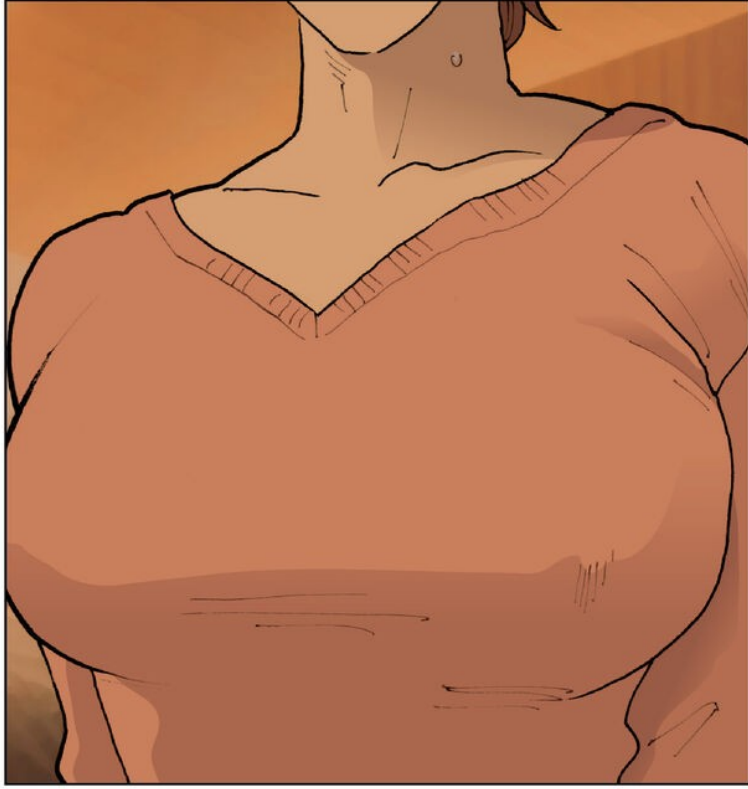














うるせー
な。お前
が連れこん
だクセに。



だ…
駄目よ。

二階だからって
騒いだら……。



あっ!!? ちよつと…
待ちなさいよ!!

グイッ

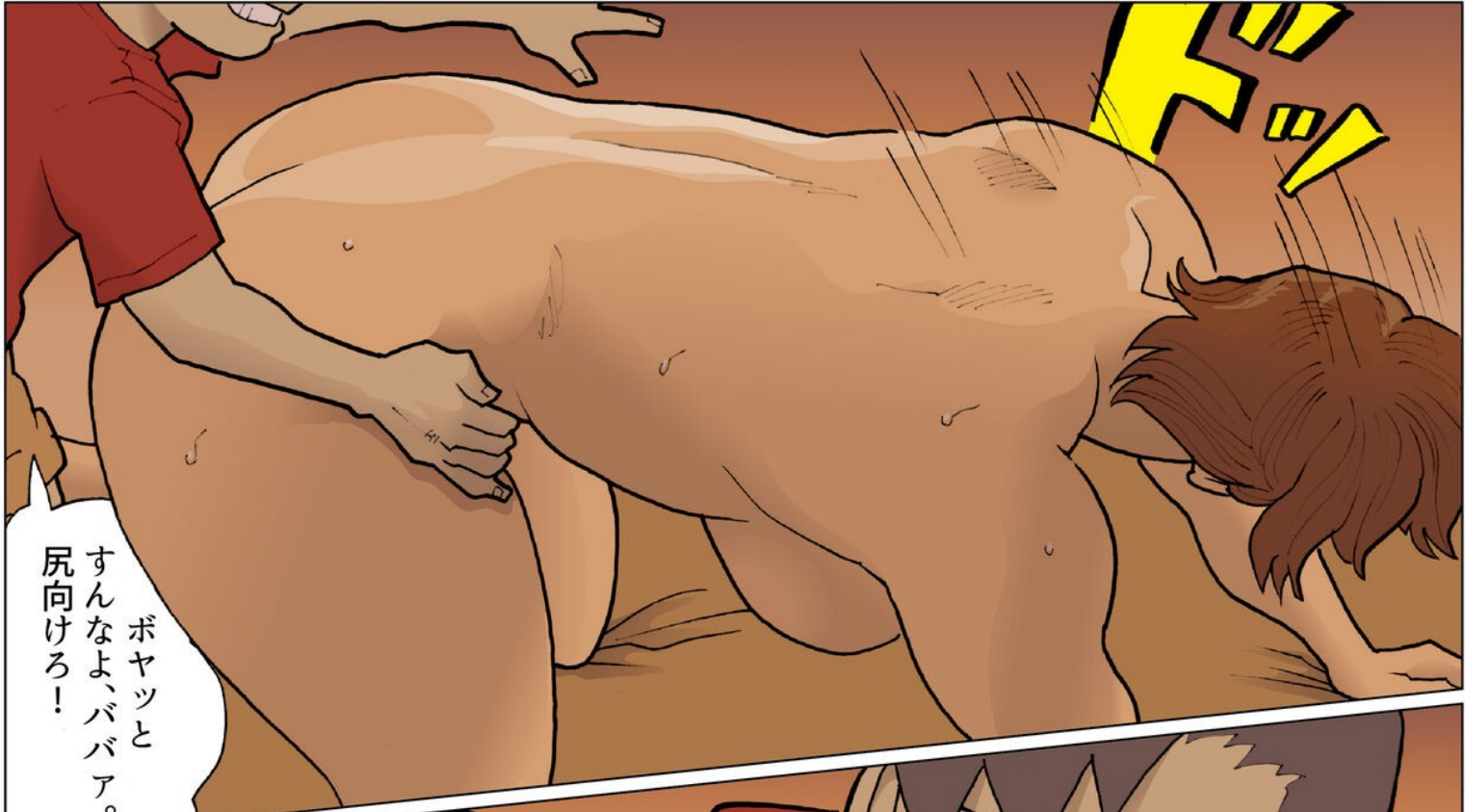
弱みを握られた私に
拒絶する術はありません
でした…。

相手は〇回りも歳が下の
娘の友達……。
その悪鬼の性欲が夫婦の
空間で私に襲いかかって
きました。

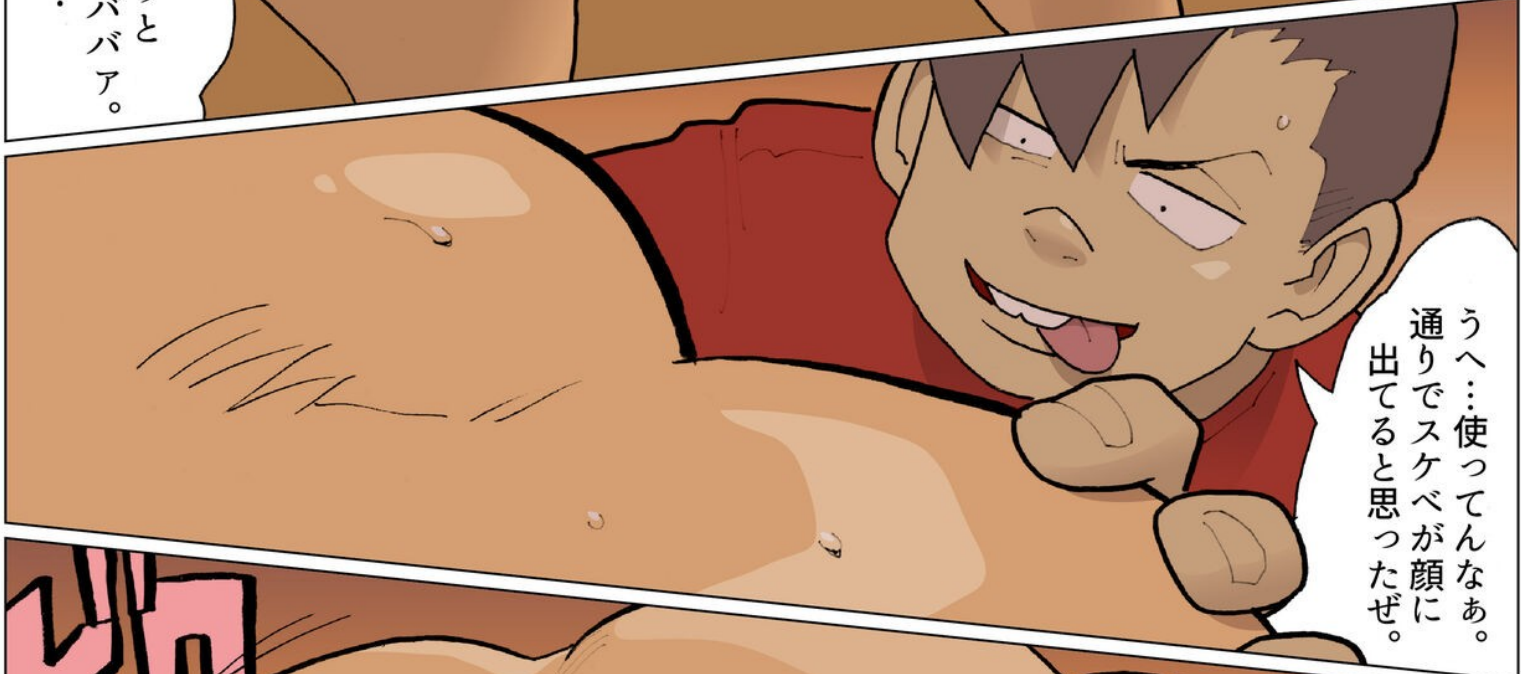


…んなトコばかり
触ってんじや
ない……わよ。

ク……
何よ……



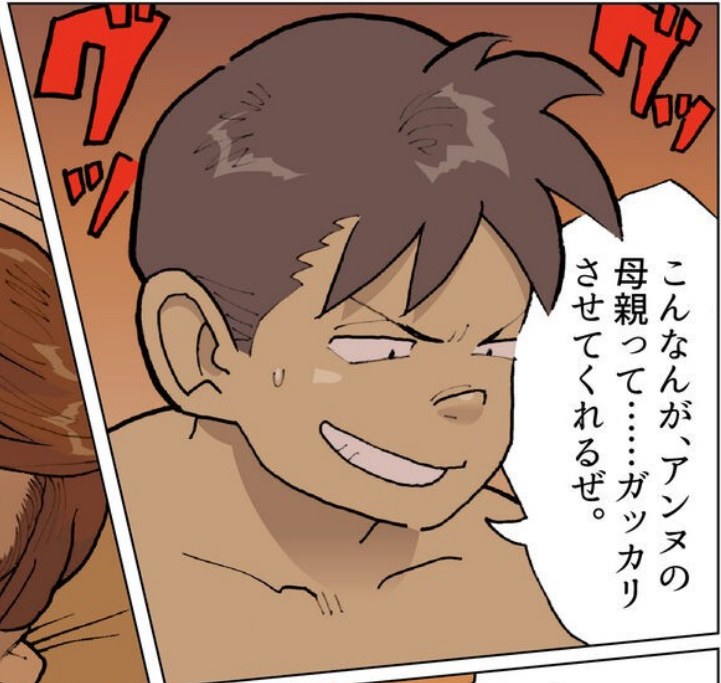
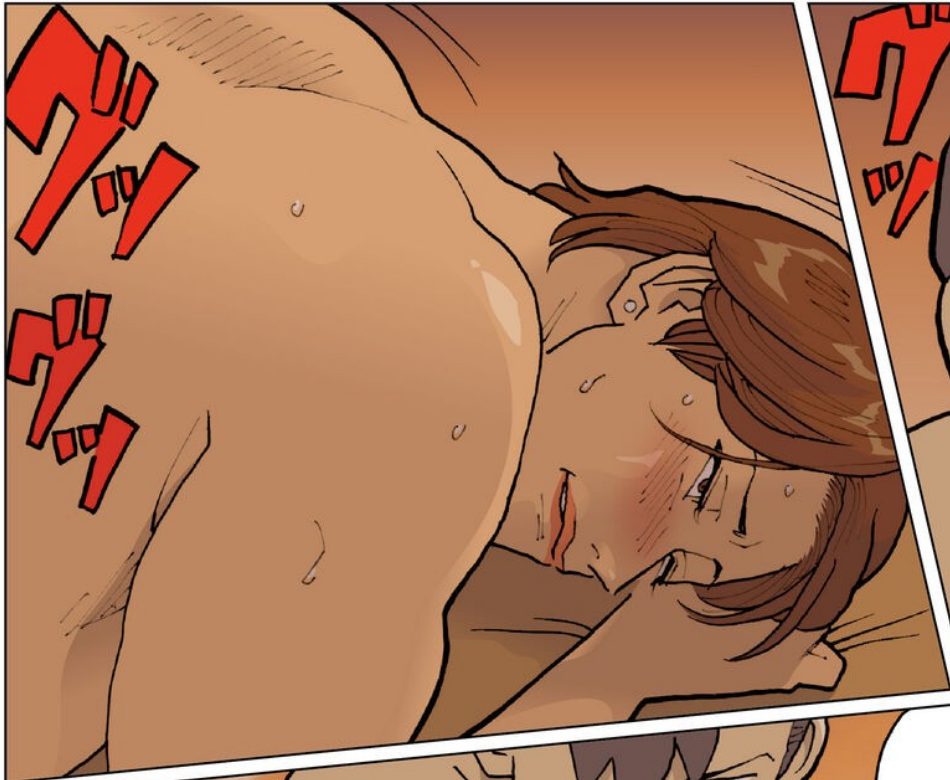
ボヤツと
すんなよ、ババア。
尻向ける！



うへ：使ってんなあ。
通りでスケベが顔に
出てると思っただぜ。







こんなんが、アンヌの
母親って……ガツカリ
させてくれるぜ。



はあ？
アイツはお前みたい
痴女じゃねーよ。

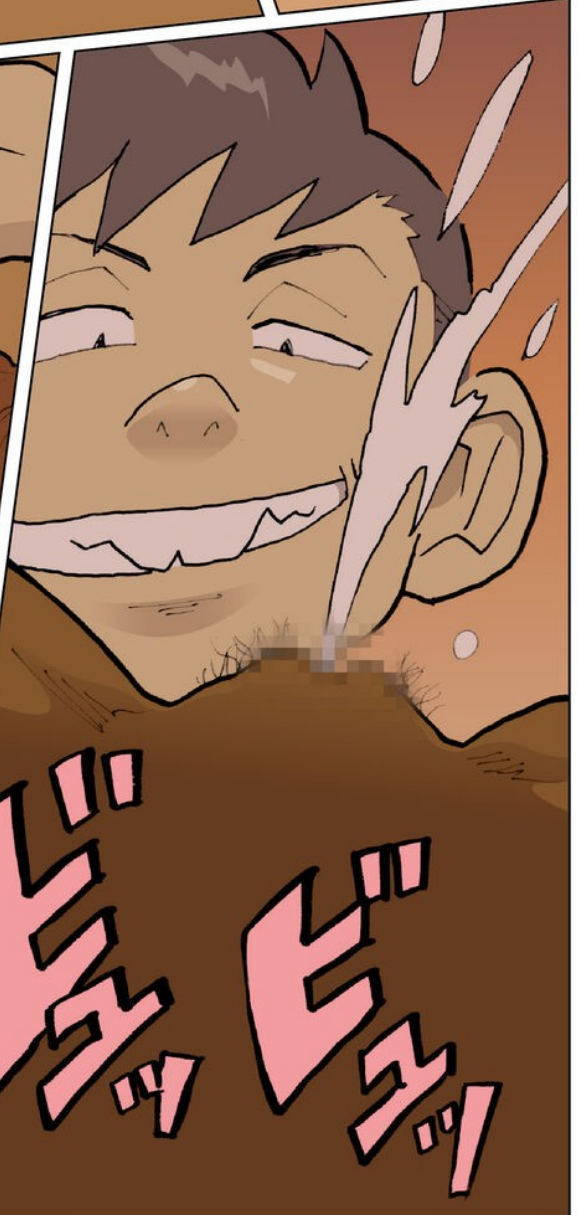
私もおツ……んあああつ！
なの、あの子の友達
なんて認めないイツ……
おああああつ！

ちよ…
アンタ今自分が出し
入れしたトコに
何を…



ああッ
話を聞いて
ひいああああ
古を…舌を
ないでえ
まお

んッ!!
おおおッ



あまりに予想を超えた嗜好と手練ぶりに、
私の大人としての余裕など悉く崩壊し…
その無邪気で残酷な蹂躪の前に本来の
自分の姿が曝け出されていきました。

ブル
ブル

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ



何だコイツ。
これならチエリー
でも堕とせるじゃんかよ。

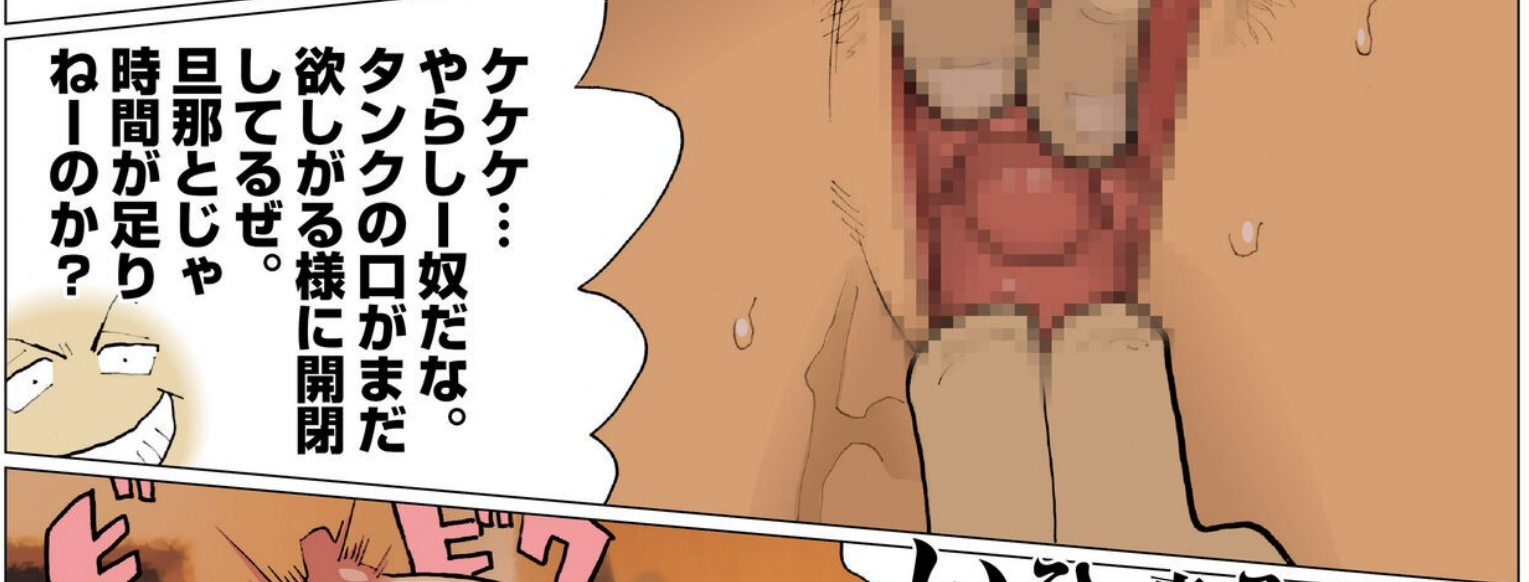
い...一回
止めてッ...
えああああッ!!
ちよつとッ
休ませ...



ほおおおッ!!!
何をッ...

ゴウ

うるせー。
便所がイチイチ
質問するな。
股広げとけ。



ケケケ...
やらしー奴だな。
タンクの口がまだ
欲しがらる様に開閉
してるぜ。
旦那とじゃ
時間が足り
ねーのか？



へあああ
そあつあ
事ん
いひ無
ツい無

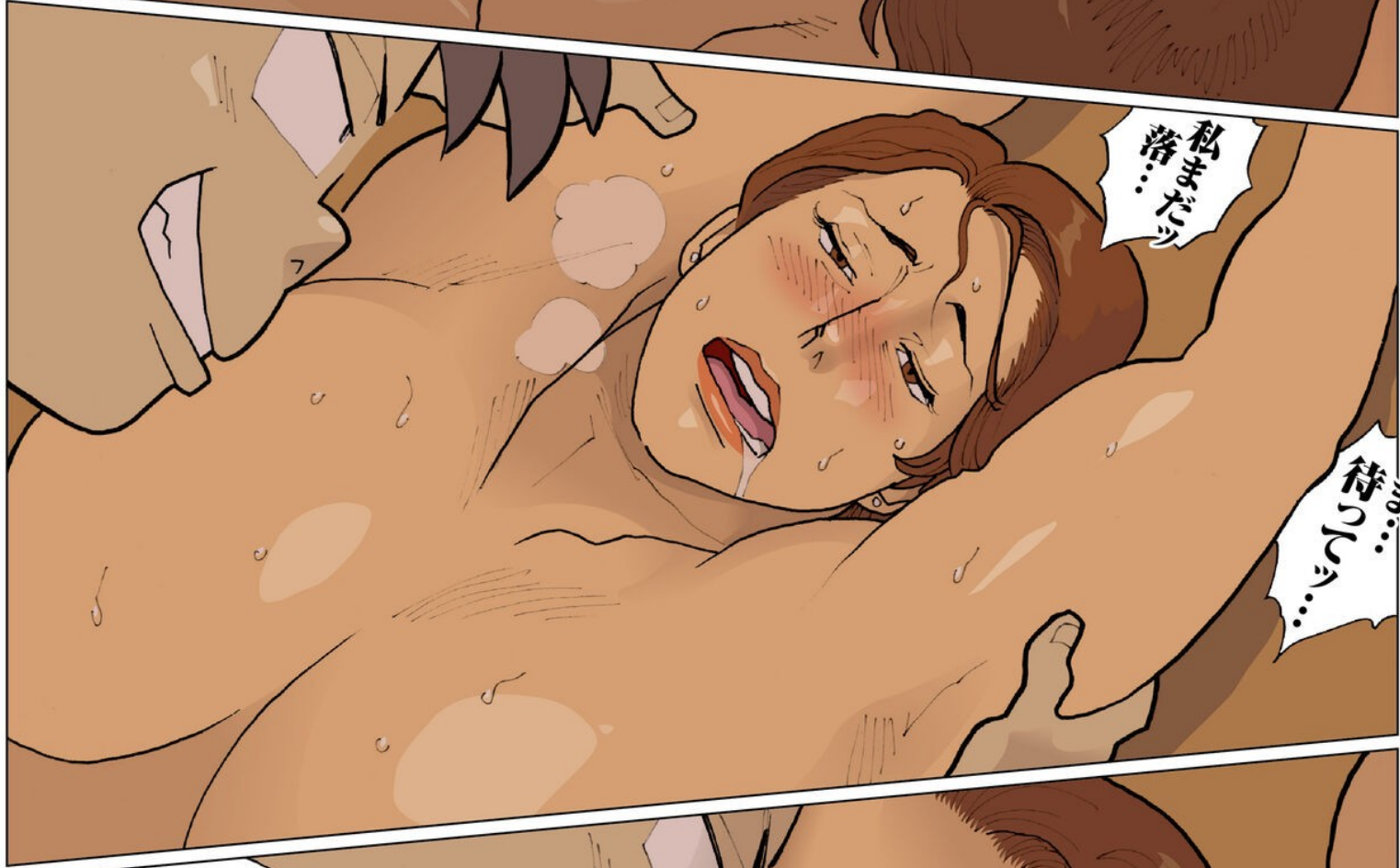
ゴウ



とりあえず、
今回はここまでだ。
俺もぼちぼち下で
宿題しねーといけ
ねーからな。

私まだ
落...だ...

待...て...
な...



屈してないって
言いてえんだろ？
安心しろ、次はこんな
もんじゃねーから。

to be continued...